

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久米 敦司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,842	△0.9	1,052	△16.2	1,073	△19.1	729	△19.6
2020年3月期第1四半期	8,928	2.7	1,256	△21.2	1,327	△20.4	907	△22.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 805百万円(6.4%) 2020年3月期第1四半期 756百万円(△40.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	79.34	—
2020年3月期第1四半期	98.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,654	27,831	73.9
2020年3月期	38,355	28,039	73.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 27,831百万円 2020年3月期 28,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	2.9	1,100	△50.6	1,100	△51.6	750	△51.8	81.52
通期	35,000	3.6	1,800	△44.7	1,800	△48.0	1,180	△53.7	128.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	9,400,000株	2020年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	200,179株	2020年3月期	200,179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	9,199,821株	2020年3月期1Q	9,199,721株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2021年3月期第1四半期 14,853株、2020年3月期 14,853株、2020年3月期第1四半期 14,953株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症問題により、政府より緊急事態宣言が発出され、外出自粛や休業が広がる等、経済活動が大きく制限される環境下にありました。政府による事業継続等への各種助成金や個人への給付金等の政策が下支えとなるものの、国内景気は後退局面にあります。また、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症問題の影響は大きく、各国で入国制限や都市封鎖等が実施される中、感染者数が最も多い米国では、4月以降の失業率が10%を超えリーマンショック後を上回る水準で推移する等、全世界的に経済に大きく影を落としております。感染症の第2波、第3波も予想されており、先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、外出自粛や飲食店の休業の広がりに伴い、家計における内食が増加する等、大きく市場環境が変化しております。また、食を提供するインフラの役割として、これまで以上に安全・安心を前提とした安定的な事業継続が求められています。

このような状況下、当社グループは、出張等の行動制限、工場見学の停止、テレワーク勤務の原則化等、感染症拡大を防ぐ取組を行う中で、厳格な生産管理体制のもと、安定的な製品供給の確保に注力しました。また、外出自粛の広がりや内食の増加等に向けて、WEB広告施策を強化する等、市場環境の変化への対応にも取り組んでおります。

なお、5月に策定しました中期経営計画「ONE K a d o y a 2025」につきましては、新型コロナウイルス感染症問題により不確実な状況ではありますが、変革と挑戦という思いのもと、「事業戦略」、「経営基盤の再構築」に関する施策や「持続可能な社会実現に向けた取組(SDGsを意識した経営)」に対して取組を進めております。

ごま油におきましては、家庭用は、内食の増加の影響等により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。一方で、業務用は、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しました。また、輸出用は、国内と同様に新型コロナウイルス感染症問題の影響を受け、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しております。以上により、ごま油全体の販売数量は前年同期比94.9%、販売金額は前年同期比99.8%となりました。

食品ごまにおきましても、ごま油と同様の傾向にあり、家庭用の販売数量は前年同期に比べ増加したものの、業務用の販売数量が落ち込み、食品ごま全体の販売数量は前年同期比88.8%、販売金額は前年同期比96.4%となりました。

一方、コスト面におきまして、売上原価は、袖ヶ浦工場が前期2月に完成したことに伴う減価償却費の大幅な増加等により、前年同期比105.5%となりました。また、販売費及び一般管理費は、家庭用の販売促進費の使用減等により前年同期比93.7%となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,842百万円(前年同期比86百万円減)、経常利益は1,073百万円(前年同期比253百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は729百万円(前年同期比178百万円減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、新型コロナウイルス感染症問題による家計における内食の増加等に伴う需要増により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。また、内食需要の高まりに向けて、SNSを含むWEB施策を強化する等、環境に対応した広告施策を展開しております。

業務用は、家庭用製品を取り扱う加工ユーザ向けが堅調に推移したものの、外出自粛や飲食店の休業の広がり等から、外食産業向けの販売が落ち込み、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

また、輸出用は、主力である北米市場においても新型コロナウイルス感染症問題の影響が大きく、小売店向けの小容量品の販売等が堅調に推移したものの、飲食店における店内飲食禁止等の措置や外食に対する敬遠が広がる等、外食産業向けの需要が減退し、販売数量は前年同期に比べ、減少しております。

一方、コスト面では、売上原価は、袖ヶ浦工場が前期2月に完成したことにより減価償却費が大幅に増加した他、同工場に関する固定資産税等の固定費の発生等により、前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は、前期7月より取り組む原料価格上昇に対応した家庭用の販売促進費の絞り込み等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は6,607百万円(前年同期比10百万円減)、セグメント利益は819百万円(前年同期比166百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、ごま油事業と同様に、家庭用は、新型コロナウイルス感染症問題による家計における内食の増加等に伴う需要増により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。また、業務用は、外食産業向けの販売が落ち込んだ他、ねりごまにおいて、総菜向け需要が減少したこと等により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

一方、コスト面では、売上原価は、販売数量の減少等により前年同期に比べ減少しました。また、販売費及び一般管理費は、販売促進費の使用増等により、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は2,208百万円(前年同期比82百万円減)、セグメント利益は218百万円(前年同期比41百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ701百万円減少しました。これは原材料及び貯蔵品が1,507百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が1,725百万円、有形固定資産が313百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ493百万円減少しました。これは短期借入金が1,000百万円増加するなどの増加要因があったものの、支払手形及び買掛金が581百万円、未払金が501百万円、賞与引当金が416百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ208百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益729百万円計上と配当金の支払い1,013百万円の加減算により利益剰余金が283百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,004	2,278
受取手形及び売掛金	6,789	7,190
商品及び製品	1,626	1,690
仕掛品	1,150	1,200
原材料及び貯蔵品	5,867	7,374
その他	1,117	479
流動資産合計	20,555	20,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,292	5,413
機械装置及び運搬具(純額)	5,799	5,501
その他	3,606	3,469
有形固定資産合計	14,698	14,385
無形固定資産	418	405
投資その他の資産	2,683	2,649
固定資産合計	17,800	17,440
資産合計	38,355	37,654
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,321	2,740
短期借入金	2,000	3,000
未払法人税等	256	218
賞与引当金	562	145
役員賞与引当金	157	13
その他	1,974	1,655
流動負債合計	8,272	7,773
固定負債		
退職給付に係る負債	1,607	1,602
役員株式給付引当金	21	24
資産除去債務	174	181
その他	239	240
固定負債合計	2,042	2,048
負債合計	10,315	9,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	23,349	23,066
自己株式	△1,379	△1,379
株主資本合計	27,197	26,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	837	929
繰延ヘッジ損益	23	7
退職給付に係る調整累計額	△18	△17
その他の包括利益累計額合計	842	918
純資産合計	28,039	27,831
負債純資産合計	38,355	37,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,928	8,842
売上原価	5,066	5,346
売上総利益	3,862	3,496
販売費及び一般管理費	2,605	2,444
営業利益	1,256	1,052
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
為替差益	35	4
受取保険金	21	—
雑収入	3	6
営業外収益合計	74	25
営業外費用		
支払利息	—	0
支払手数料	2	2
雑損失	1	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	1,327	1,073
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除売却損	3	3
特別損失合計	3	3
税金等調整前四半期純利益	1,330	1,070
法人税、住民税及び事業税	337	197
法人税等調整額	85	143
法人税等合計	422	340
四半期純利益	907	729
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	729

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	907	729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	91
繰延ヘッジ損益	△36	△16
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	△151	75
四半期包括利益	756	805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	756	805
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,330	1,070
減価償却費	186	451
賞与引当金の増減額(△は減少)	△211	△416
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△170	△143
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	△4
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△15	△15
受取保険金	△21	—
支払利息	—	0
支払手数料	2	2
有形固定資産除売却損益(△は益)	△2	3
売上債権の増減額(△は増加)	△417	△400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,291	△1,621
その他の資産の増減額(△は増加)	△11	593
仕入債務の増減額(△は減少)	21	△578
その他の負債の増減額(△は減少)	△307	△53
小計	△877	△1,109
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	—	△1
支払手数料の支払額	△4	△4
保険金の受取額	21	—
法人税等の支払額	△627	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,473	△1,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
有形固定資産の取得による支出	△1,633	△588
無形固定資産の取得による支出	△19	△45
有形固定資産の除却による支出	△8	△1
有形固定資産の売却による収入	6	—
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△8	△7
保険積立金の解約による収入	17	—
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,648	△643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	1,000
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△925	△852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△925	147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,047	△1,725
現金及び現金同等物の期首残高	5,640	3,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,592	2,263

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,617	2,291	8,908	20	8,928
計	6,617	2,291	8,908	20	8,928
セグメント利益	985	260	1,246	10	1,256

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,246
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	1,256

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,607	2,208	8,816	26	8,842
計	6,607	2,208	8,816	26	8,842
セグメント利益	819	218	1,038	14	1,052

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,038
「その他」の区分の利益	14
四半期連結損益計算書の営業利益	1,052

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。